



日本航空 福智町

新たな発見・さらなる学び

JAL キャリア教育



昨年引き続き、お仕事講座やマナー講座、また今年には折り紙ヒコーキ教室が行われた「JAL キャリア教育」。将来性を高める貴重な学びの機会に、児童・生徒たちは大人へのワンステップを踏み出しました。



客室乗務員のお仕事・マナー講座

対象▶ 方城中3年 / 赤池中2年
金田義務教育5・7年



JAL 折り紙ヒコーキ教室

対象▶ 伊方小4年 / 上野小3・4年
金田義務教育4年



パイロットのお仕事講座

対象▶ 方城中1・2年 / 赤池中1年
金田義務教育6・8年
伊方・上野・弁城・市場小5・6年

空の仕事学ぶ特別授業
可能性と視野を広げる

町と連携協定を結ぶJAL(日本航空)協力のもと、昨年引き続き2回目の「JAL キャリア教育」が実現。10月から12月にかけて、小学3年生から中学3年生を対象に行われ、空の仕事やマナーなどを学ぶ貴重な授業となり、子どもたちが将来を考える機会になりました。

客室乗務員のお仕事・マナー講座では、「お客様の安全確保と最高のサービスを提供することが客室乗務員のお仕事。そのため、事前の安全確認やパイロットとの打合せ、また、相手を思いやる気持ちを相手に伝えるように表現するマナーが大切」と接客マナーの基本を指導。思いやりの心を身につけました。



④ズレないように協力して折る永木さんと長澤くん。(金田義務前期) ⑤得点が違う穴に紙ヒコーキを投げ通すゲームを楽しむ児童たち。(同)

JAL 折り紙ヒコーキ教室では、いろいろな種類の中から、いかヒコーキとヘソヒコーキ(JAL タイプ)を折り飛ばすことで、飛行機の仕組みをより深く知りました。

パイロットのお仕事講座では、「共通言語が英語だったり、コミュニケーションが大事で国語力が必要なので、1つの教科が得意よりも全ての教科平均点以上取ろう」とパイロットになる近道などを学びました。

今回の特別授業は、現役客室乗務員とパイロット、またJALグループ社員の方たちのリアルなお話を聞き、未来へ飛び立つ基礎を育みました。

